



なんでやねん



発行責任者 倉橋 忠

No. 6 4

「もし、君が市長だったら どうする」

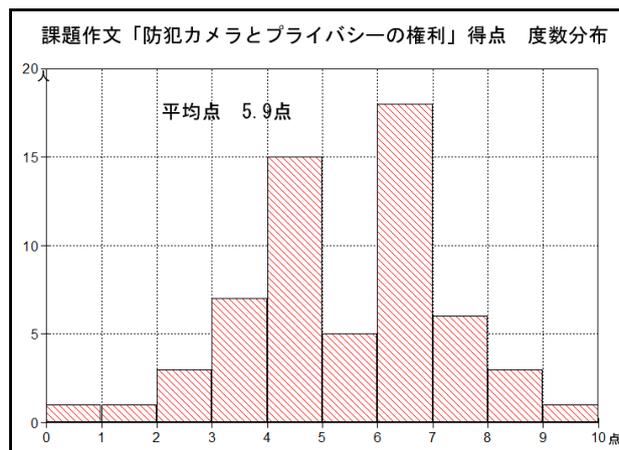
課題作文「市長の役割と、防犯カメラとプライバシー」の代表作品

先週の月曜日(11月14日)に、^{こうみんてきぶん や はい}公民的分野に入っはじめて、^{か だい さく ぶん ぼうはん}課題作文「防犯カメラを設置するか。君が市長ならどうする」に^{ちょうせん}挑戦してもらいました。

今回の作文の課題のテーマを一言で言え、^{しちょう やくわり ぼうはん}「市長の役割と、防犯カメラとプライバシーの権利」ということになるでしょう。

今回の作文は、これまでよりも^{すうだん}数段高いレベルの作品(答案)が多く出ました。そのことが、^{とく ちん へい ぐん}得点平均(5.9点)の高さにも表れています。ただ、^{けいこう}全体的な傾向では、6点以上と4点以下に大きく分かれます。

これは、自分の意見を表現できる人が少しずつ増えてきている^{あらわ}現れだと思えます。



1 今回の課題作文の評価基準(採点基準)

- ① 自分の^{けつろん}結論(賛成・反対など)を書くことができている。(2点)
 - ② 対立している内容(治安の維持とプライバシー権のどちらを優先すべきかなど)の説明ができている。(対立)(2点)
 - ③ 防犯カメラ設置のメリットとデメリットを説明できている(財政状況に対する^{けんとう}検討をしているなど)。(効率)(2点)
 - ④ 市長が^{ぎょうせい せきにんしゃ}行政の責任者であることをふまえ、市民の基本的な人権を守るために、対立している^{そうほう}双方の立場が合意できる方法を検討している。(合意)(2点)
 - ⑤ ^{きろく}記録データの^{かんり}管理や利用方法などについて^{しょう}生じる問題点に、自分なりの^{こう}公正な判断をし、その^{こんきょ}根拠を^{すじみち}筋道を通して説明できている。(公正)(2点)
- 採点は、**加点法**をとります(評価できる部分を足します)。ただし、^{ろんり むじゆん}論理矛盾をおこしている^{きじゆつ}記述は-2点とします。そのため、論理矛盾があれば、それに関する^{そうさい さしひ}記述はすべて相殺(差引きして帳消しにすること)されて0点になります。

2 防犯カメラの設置に対して、意見が3つに分かれた

課題文の設定では、尼崎市内を42小学校の校区に分けて、各小学校の通学路に10台の防犯カメラを設置するというものでした。したがって、提案は、尼崎市内に420台の防犯カメラを設置するとしています。これを人口比

市内に420台の防犯カメラを設置するか	
意見(態度)	人数
賛成する	32
台数を減らして設置する(中間派)	20
反対する	7

で見ると、尼崎市の人口が44万人ですから、およそ市民1000人に1台の防犯カメラを設置することになります。この数は多いのか、少ないのか、考慮する必要はないのか。

この点に関して、君たちの「作文」で表明された意見(態度)は、賛成・反対・中間の3つに分かれました。

得点7点以上の代表的な意見(全員分ではありません)を、態度別に分けて紹介します。個性を味わいながら読んでください。なお、「作文」中に誤字が含まれていることがあります。「作品通り」に再現したからです。漢字の誤りなどについては注意してください。「作文」の後の※()内は、私(倉橋)のコメントです。

ぜひ、最後まで読んで、自分の考えていたことと、どのように違うのか。同じ意見でも、友だちはどのように表現しているのかを、考えながら読んでください。きっと、そのことが君の学力を高めることにつながります。

(1) 防犯カメラの設置に賛成する立場の作文

- ① 1組 K. K. 防犯カメラはつけるべきだと思います。なぜなら、実際に、防犯カメラのおかげで解決した事件もあるからです。でも、その意見に対する反論が出てきました。

それは、プライバシーの侵害です。ずっと監視されているみたいでいやなどの意見があります。あともう1つはお金です。尼崎の42校の小学校に10台ずつつけるとすると420台。お金にすると、1億5960万円が防犯カメラに使われます。でも、よく考えてみて下さい。防犯カメラをつけることでたくさんの命がすくわれるかもしれません。お金より命だと私は思います。もちろん、防犯カメラをつけることが決まるまで、どのようにしてプライバシーを守るかなど考えました。でも、プライバシーは監視方法を見直せば、守れると思うし、私は命の方が守りたいし、事件も起こって欲しくない。でも、起こってしまうのなら、ガッツリとカメラをつけてそこら中から犯人を監視する方が大切だと思いました。

今、インターネットで防犯カメラの映像を見れるようになってますが、その一際をはいしして、その証拠を見せてから、防犯カメラさどうへとしていきたいと思います。

※(防犯カメラの記録映像が刑事事件の解決に結びついた効果を根拠にしていて明確です。「お金より命」は説得力があります。予算という言葉を使えないのが残念ですが、プライバシーの保護についても配慮していることがうかがえます。なお、「一際」の意味は不明ですね。)

- ② 1組 R. G. 私が市長だとしたら、賛成で防犯カメラを設置します。なぜなら、防犯カメラを設置した方がより多くの命をすくえるからです。
- 最近、小学生や中学生をねらう悪質な犯罪や、空き巣などの犯罪が少しずつ増えてきているからです。ですので、より多くの命をすくわないといけません。どんな命をすくわないといけないのか、それは、小学生や中学生です。なぜなら、日本は今、少子高齢社会です。だから、これ以上小学生や中学生を減らすわけにはいかないのです。
- 反対する人に対しては、反対する人は、防犯カメラを設置する上で、プライバシー権を侵害されたりとかは考えないで、まず、ポジティブに考えたらいいと思います。ポジティブに考えたら、もし、あなたが被害者だったら、この防犯カメラがあるだけで全然ちがうと思います。
- ※(プライバシーの権利より、市民の命や財産を守る方が優先されると考えています。ただ、「少子高齢社会」だから小中学生を減らせないから守るという考え方には賛成しかねます。生命の大切さは何よりも優先されなければならないからです。)
- ③ 1組 Y. N. 防犯カメラを設置することに対して僕は賛成です。
- 理由は、万引きや、痴漢、ひったくりなどの小さな犯罪や、ゆうかいや、通り魔などの人命にかかわる大きな事件の犯人特定のための重要な手がかりがうつついて事件解決がはやくなったりして、設置して損はないと思います。
- プライバシーを気にする人もいるので、見る人は裁判所の許可(令状)をとった人だけにしたらいいと思う。
- ※(結論と、その根拠をコンパクトにまとめています。プライバシーの権利が侵される可能性については、記録データの閲覧に令状を必要とすることで慎重な態度を求めている点が光ります。)
- ④ 1組 Y. H. 私は監視カメラを付けた方が良いと思います。なぜなら、監視カメラを付けることによって犯罪の抑制そして、今までなら必要だった、目撃者への聞き込みも、監視カメラに映像が残っていれば必要なくなり、解決の速さも上がる。
- しかし、監視カメラを付けることによって障じるプライバシーへの侵害だ。市民の安全を守るために、市民の人権を侵害しては元も子もない。さらに、監視カメラの情報が外にもれ出す可能性もありえる。
- 実際、東京では、人権が侵害されると返発の声も出ている。これらを守るためには、監視カメラの情報を絶対的に管理することが重要だ。そうすることで監視カメラを付けることによって得られる利点があらわになる。
- ※(刑事事件の解決を例に取り防犯カメラの効果を具体的に説明していて説得力があります。さらに、東京都の例をあげて実際にプライバシーの権利が侵害されるおそれがあることも説明した後で、データの管理が必要だとする意見は知識の豊富さを示しています。しかし、管理方法に具体性がないのが残念です。なお、「返発」ではなく反発ですね。)
- ⑤ 2組 K. U. 防犯カメラは設置するべきだと思います。
- 住民の中では、プライバシーが守られなくなるから設置しないという意見と犯罪防止や治安を守るために設置してほしいという意見に分かれています。設置するメリットとしては

- ・公共の福祉を守るとして、安心して生活できる社会を実現できます。
- ・犯罪防止や捜査に役立ちます。
- ・これから重要になりそうなテロの防止にもつながります。

デメリットは、

- ・プライバシーが守れるのか
- ・個人情報保護されるのか、です。

デメリットの対策として

映像データの管理を徹底し、セキュリティを確保することです。たとえば、住民票などと同じように市役所で管理するや、使用目的をはっきりさせ限定することです。使用するのには、犯罪捜査や、調査・研究などです。予算の確保については、国に援助してもらうのと

※(賛成派と反対派の意見があることを明確に説明した後で、メリットの検討をしています。多くの事実をとりあげて説明している「力作」です。

しかし、「安心して生活できる社会」が公共の福祉ですから、やや知識に不安定な部分が見えます。デメリットにあたる場面の説明は少し、具体性が欠けます。あと少し、内容を整理して文章化できると、とてもいい作文になります。箇条書きに終わっているのが残念です。)

- ⑥ 2組 H. K. 私は防犯カメラを設置するべきだと思います。プライバシーの権利や肖像権に反するという点で反対する人もいますが、人権の限界や制限などと社会全体の利益を意味する公共の福祉によってかいつくできます。また設置するメリットは、犯罪が減ることや、証拠となって犯人をたいほしやすくなるということですが、置く場所によっては、人の私生活をのぞくことになるので置く場所は注意します。予算にも防犯カメラを置くよゆうがあるので問題なし。ただ、防犯カメラでとれたえいぞうがもれる可能性があるというデメリットがあります。それに関しては、見れる人をしぼり、しっかりしたパスワードやセキュリティで対策し、管理していくつもりです。防犯カメラをおいたときの犯罪件数とおいていない犯罪件数をグラフを通して比べてもらい市民にも意見をいってもらいたいと思う。犯罪件数が多い場所に置くつもりですが、そこだけ置いていくとまた違う場所でも犯罪がおきてしまうので、きんとうにバラまきます。

※(防犯カメラのメリットとデメリットを明確に区別して自分の考えを説明できています。予算という言葉も使用して、学習したことを活用しています。映像データの管理面についても、具体的に説明しようとしています。その部分についての記述はやや弱い感じがします。設置後の効果について、犯罪件数をグラフ化すると記述しています。その点については、とても鋭いアイデアなのですが、やや説明不足で説得力に欠けます。段落分けすると読みやすい作文になります。次からは、段落分けすることを考えて下さい。)

- ⑦ 2組 M. K. 私は、防犯カメラ設置に賛せいです。

なぜかという、もし、自分が犯人とまちがわれた時、どこにいたのかがしようめいできる。しかし、防犯カメラは、何年ものデータが残ってしまう。お金がかかる。プライバシーのしんがいだ。と言う人もいると思う。だけど、そんなことよりも犯罪がなくなる方がよい。カメラも、犯罪が多い所だけにつけて、きよくりよく お金をおさえる。それでも反たいする人には、つける前と後で どう変わったのかなどグラフにして見てもらう。データも、警敬官

以外には、見せない。

※(コンパクトに自分の結論と理由を説明しています。反対意見にも配慮していることがわかります。データの管理については慎重にしたいと考えていることは読み取れますが、警察官だけに限るというのは、少し問題が残ります。警察官が利用するには「令状」が必要だとしないと憲法が定める「法定手続きの保障」に反するおそれが出てくるからです。)

⑧ 2組 A. K. 私が市長であつたら設置したいと考えます。

まず、第一に悪質な犯罪などから子どもたちを守ることが大事だと思います。両親も仕事でいなかったり子どもにずっとつきっきりなわけではありません。通学路の今より少しでも増える方が安心であると思います。

お金のめんでは、現存約2080億ありますが、防犯カメラの設置は1億です。2080億のうちの1億だと考えると、犯罪防止のためと思つたら安いと思います。

防犯カメラ設置の反対意見としてプライバシーの権利があげられています。新しい人権が主張されるようになり、そのうちの1つがプライバシーの権利ですが、社会全体の利益を意味する公共の福祉で制限ができます。仮に事件が起きて防犯カメラに写っていたら証拠として使えます。写した後にはどうするかは管理をしっかりすることです。特定の人にしか見れないようにし、事件の映像のコピーしたいときは裁判官に令状を出してもらいます。

防犯カメラの設置にはたくさんのメリットがあります。だれもが安心できる暮らしをするために必要だと思います。

※(結論を明確に宣言した上で、その理由を生活感覚で説明できています。

また、財政面にも意識をしたうえで結論を出しています(予算とか財政という言葉を使いたかった)。プライバシーの権利の侵害に対しても令状主義を取り入れて、法的な手続きを保障することを考えていることが評価できます。なお、文章にところどころで、つながらないことがあるのが残念です。)

⑨ 2組 K. N. 私は設置するに賛成です。その理由の第一としては、絶対に犯罪が減ると考えられるからです。あと、犯人を捕まえることがすぐにできると思います。

この問題で反対する人の言いたいことは、プライバシーなどに関することだと思います。他の人にこの映像が漏れたりしないかや、防犯カメラの費用のことだと思います。

でも、他の人が見れないようにするために、セキュリティを強化したり、見れる人を制限したりすると大丈夫ではないかと考えられます。費用に関しては、犯罪が多い場所をピックアップして、年に数十台付ければよいと思います。

町に防犯カメラがちょっとでもあるのとないのとでは、犯罪の数は減るだろうし、もし事件がおきて、犯人を捕まえようとなった時に、防犯カメラはかなり役に立つと思います。

※(中間の立場に近い作文です。結論が明確に書かれていて、理由もコンパクトですがきっちり書けています。ただ、プライバシーの権利をどのように保障するかについての説明がないことが少し残念です。映像データの管理をしても、データの扱いを考えないとプライバシーの権利を保障することにはならないからです。あと少しで完成度が上がります。)

⑩ 2組 Y. M. ぼくが市長だったら、防犯カメラを設置します。

理由は、プライバシーの権利より犯罪をへらすほうが大切だからです。でも防犯カメラの映ぞうがぬすまれてはいけないのでパスワードなどをつけ、決められた人しかみれないようにします。

防犯カメラのメリットは犯罪をへらしたり、アリバイのしょうげんにもなりません。デメリットは自分がやったばれたくない情報が残ってしまいます。でも、命が一番大切だから、しかたがないと思います。それでもなっとくできない人もいると思うので、犯罪にじゅうようなえいぞう以外は数年たったら消していったらいいと思います。

自由に人間らしく生きていく基本的人権は守れていないと思うが犯罪をすくなくし、生きるのがよいと思う。

以上のことから、防犯カメラは設置したいと思う。

※(プライバシーの権利と犯罪を減らすことを対立させて、どちらを優先すべきかの判断基準を明確に示しています。映像データの管理についても言及していて、情報化の技術が万全ではないことも忘れていないことが読み取れます。防犯カメラの効果の説明も具体的です。ただ、データ管理だけでプライバシーの権利を保障できないので、そのことについてはよく考えて欲しいと思います。)

⑪ 2組 M. M. 私が尼崎の市長なら、防犯カメラを設置したいです。

兵庫県の犯罪発生率では、尼崎は市区町村別で第3位で、近年では、児童などが犯罪に巻き込まれる事件が多いからです。

2014年の神戸市長田区の小1女児殺害事件以降、自治体が積極的に防犯カメラの設置を行っています。

また、防犯カメラの設置が多いことで有名なイギリスでは、近年主要犯罪が減少傾向にあります。

こういったことから、防犯カメラは必要だと思います。

予算については、今、尼崎は財政難に陥っており、一度に多額の支出をするのが難しいため、小中学校周辺や犯罪の多い地域から徐々に設置していくと共に、国などから補助金をもらえるように働きかけます。

プライバシーの保護については、その権利を守ることを尼崎の条例を制定しています。録画した映像の保存期間を定め、映像の閲覧には、司法手続きがない限り、一般市民からの個人的な閲覧要望には応じません。

このように、具体例などを挙げて、反対する人に納得してもらえるようにします。

※(結論が明確で、その根拠も説得力があります。尼崎市の犯罪件数はMさんが指摘する通り、他の市や区よりも群を抜いて多いのが実情です。神戸市が積極的に防犯カメラの設置に動き出していることも調べて、説明に引用することができます。さらに、イギリスの防犯カメラの設置数や犯罪傾向についても調べて根拠にしています。

財政面についても検討をしていて、国からの補助金も視野に入れている点は注目に値します。プライバシーの権利の保障することについてもていねいに検討していて、記録データの保存期間を決めることや、閲覧に令状を求めるなど法的手続きの保障も忘れず説明できています。とてもよく書けている作文です。)

(2) 防犯カメラの設置台数を減らす立場(中間派)の作文

- ① 1組 M. K. 私は、防犯カメラを設置するという意見に賛成ですが、1校あたり10台つけることには反対です。

特に犯罪の多い所や起こりやすいとされる所にもみ設置するべきだと思います。

賛成意見は、設置しているだけで犯罪がへる、犯罪がおきたときに、映像を有効に利用できる、犯罪がおきてから「つけていれば、、、」となることがない、などです。

反対意見は、設置費用が高い、プライバシーが守られない、などです。

どちらの意見ももっともであり、一方を捨てるわけにはいかないので、両者の合意を得るために、犯罪の多い所や起こりやすいとされる所にもみ設置し、のこりのお金は情報管理技術の強化に使うべきだと考えます。

こうすれば、プライバシー

※(賛成の立場と、反対の立場の両方の意見を簡潔に説明しているので、対立している様子が分かりやすく書けています。どちらの言い分も否定するのではなく、どちらも取り入れて設置台数を減らすことにした理由は分かりやすい。しかし、カメラの台数を減らすだけで、プライバシーの権利を保障することにはなりません。その部分の検討が欲しかった。)

- ② 1組 H. T. 自分は防犯カメラを少しだけ設置して大きな効果があれば設置数を増やせば良いと思います。意見が対立している理由は尼崎の犯罪増加をおさえたいという要望があってカメラをつけたいけど、反対の人達はプライバシーや肖像権にひっかかるという理由で意見が分かれているから、自分はその間をとって少しだけ設置をしたら良いと思いました。

でも、防犯カメラにはメリット、デメリットがあります。メリットは、いろいろな犯罪を防げる。なにかあったときのアリバイになるなどです。デメリットはずっとかんじられていたり、データが簡単にぬきとられたりすることです。このことをふまえるとやっぱり少し設置して大きな効果があれば設置数を増やせば良いと思います。

※(この作文も、設置台数を減らすことでプライバシーの権利の保障ができるかのような説明になっています。1台でもプライバシーの権利を侵害することはあります。問題は、日常の姿を許可もなく撮影したり、データを記録し閲覧することをどのように理解し、管理するかです。この作文には、その管理方法などに対する提案のないのが残念です。)

- ③ 1組 S. N. 設置する。でもいきなり10台は多いと思うから、半分設置して、様子を見てあと5台設置するか考える。プライバシー権を侵害されると心配な人もたくさんいると思うから、最初の5台を設置するときには家の前などがあまりうつらない場所にして、家の前などは子どもの両親や地域のボランティアなどで見まわりをする。そして防犯カメラの映像を見ることができるのは市長とあと2人ぐらいにして、他の人から見られないように、パスワードなどでロックしておく。もし、あと5台設置したくて、家の前がうつってしまう場所におきたいと思ったら うつる家にきよかをもらい、もらえなかったときは設置せず、今まで通りにする。

※(この作文も、設置台数を減らすことでプライバシーの権利の保障ができるかのような説明になっています。ただ、設置場所の近くの人たちの許

可を得て設置するという提案をしています。防犯体制についても意識してボランティアによる安全対策を考えています。記録データの管理や閲覧の際のプライバシー侵害を想定していて、市長と他の2人だけに制限するという提案をしています。しかし、市長の業務は多忙で、市民の様子を撮影した映像を閲覧するほどの余裕はないでしょう。また、市長はどんな権限で、映像を閲覧できるのでしょうか。正当性はあるのでしょうか。疑問の残る点です。)

④ 1組 R. M. ぼくは、防犯カメラの設置に賛成します。

賛成はするけど、10台全てを設置するのではなく、人があまり通らない静かな所にできるだけカメラの数を多くせず設置できたらいいかなと思います。

理由は、10台全てを設置すると、とんでもない金額になるし、見渡しの良い所では犯罪の起きる可能性が低いと思ったからです。

逆に人や車があまり通らない静かな所の方が狙われやすいと思うので、できるだけ死角のない、色んなところを映せる場所に設置すれば、少しは犯罪の数が減るのではないかなと思います。

残ったお金は、セキュリティーなどの強化に使いたいかなと思います。

※(財政面から考えた設置案です。現実的な発想だと思いますが、防犯についての説明はありますが、プライバシーの権利を信がする可能性についての検討がありません。記録データの管理が必要であることについては意識していて、セキュリティー強化の必要性について書いています。)

⑤ 1組 K. Y. 私が市長だったら、防犯カメラを設置します。設置することで増えている犯罪を減らすことができたり、カメラを見れば犯人が誰なのかすぐに分かるからです。費用は1台あたり38万円なので1校あたり10台を5台に減らすといいと思います。

反対意見に対しては、プライバシー権なども考えて設置するとき、犯罪の多い場所だけにカメラを設置すればいいんじゃないかなと思います。

第一に考えるべきことは、やっぱり子ども達の安全だと思うので設置すべきだと思います。

※(防犯カメラの効果についての検討はしていますが、プライバシーの権利の保障についての検討がありません。設置台数を減らせばプライバシーの権利の侵害が減るように理解しているように読めます。しかし、カメラ1台でもプライバシーの権利を侵害することはあります。むしろ、台数を減らせば、町全体から見ると防犯効果は落ちるようになります。その点はどう考えますか。)

⑥ 2組 Y. K. 僕は防犯カメラを設置したほうがいいと思います。しかし、大量に防犯カメラを設置するのではなく犯罪件数が多かったり、人通りの少ない道に設置するのがいいと思います。理由は人通りの多い道などに設置しても犯罪などは起きにくいからです。メリットは町の犯罪を減らすことができます。デメリットはプライバシーの権利を侵害したりすることがあります。それを防ぐために余ったお金で防犯カメラのセキュリティーを強化し市でしっかりサーバーを管理すればいいと思います。特定の人だけがサーバーのパスワードなどを知って管理すればいいと思います。そうすることでプライバシーの権利も侵害されずに尼崎の犯罪を減らすことができます。

例えば防犯カメラを設置することによってある犯罪が起きたときに無実の人が疑われても防犯カメラに映っていたらアリバイとして提出できます。防犯カメラの設置は犯罪防止以外の事にも使えると思います。

※(防犯カメラの防犯効果と、犯罪捜査のときなどの効果を説明できています。防犯カメラの設置場所についての検討も分かりやすい説明になっています。データ管理がプライバシーの権利を保障する技術的に必要なことだと考えていることも読み取れます。しかし、プライバシーの権利を保障するためには、情報技術の管理面だけでは不十分です。たとえば、記録データの閲覧やコピーはどんな資格を持つ人に認めますか。)

⑦ 2組 F. S. 防犯カメラを少しだけ設置し効果があれば増やす

理由は犯罪の多いところにだけつけたほうがコストも安くなり犯罪防止につながるから。

プライバシーは防犯カメラの情報をサーバー一つにまとめて市役所のコンピュータからだけ見れるようにして、見れる人を限定しパスワードをつけて何か犯罪や事故が起きた時だけ見れるようにする。コピーできるのは裁判の資料やしょうことして使うときに限定する。

※(防犯カメラの設置数をコスト面を中心に判断したことが分かります。また、カメラの記録データの閲覧やコピーを許可する場面を限定的に考えていることも読み取れます。要点だけを中心に書いて、コンパクトにまとめられた作文です。ただ、もう少し、具体例を入れて書くと作文の完成度が上がります。)

⑧ 2組 G. S 僕は防犯カメラを設置することに賛成です。しかし設置するのは犯罪件数の多い所にかぎります。理由はあまり多く設置しすぎるとコストもかかるしその分セキュリティーにすぎができて、プライバシーの侵害へつながる可能性がふえるからです。

カメラの設置に賛成の人は、犯罪を未然に防げるし、犯罪がおきても犯人をつかまえる証拠になるというメリットを主張しています。

逆に、反対の人は、コストはかかるしそれはプライバシーの侵害になるのではというデメリットを主張しています。

僕はメリットの方が効率が大きいと考えます。

それは、すこしの人がかがまんするだけで、社会全体の安心安全、つまり公共の福祉につながるからです。

しかし、だからといってすこしの人をすててはいけないので、プライバシーを守るために、設置に犯罪件数が多い所という条件をつけ、カメラの台数をすくなめにして、そのういたコストでプライバシーを守るためのセキュリティーを強化します。これで合意

※(賛成派と反対派の双方の意見を簡潔にまとめています。その上で、社会全体の安心安全を公共の福祉だとして、プライバシーの権利を制限することを説明しています。ただ、この作文は、防犯カメラの設置台数を減らすことでプライバシーの侵害を減らせるような説明をしていますことが気にかかります。1台でもプライバシーの権利の侵害はありうるからです。問題は、記録された映像データの利用法や管理方法なのです。その問題点に踏み込めてないことが残念です。)

- ⑨ 2組 M. T. 私は、防犯カメラを設置するべきだと思います。でも、市内全域に設置するのではなく、今までの犯罪件数が多いところや、犯罪が起きやすそうなところ(例えば、狭い道や暗い場所)に設置して、効果があれば、たくさん設置していけばいいと思います。設置すれば、子どもの安全を守ることができるし、犯罪があったときの証拠の手がかりにもなります。

防犯カメラに保存されたデータは、1つのサーバーにまとめて、他のサーバーから見れないようにすればいいと思います。また、そのサーバーもパスワードを何回も変えて、関係のない人から、見られないようにすればいいと思います。そうすれば、データを盗まれることを防ぐことができ、プライバシー権の侵害をすることには、ならないと思います。防犯カメラを設置する前と、設置した後の、犯罪件数を調べて

※(この作文は「設置するべきだ」と主張していますが、設置台数を減らすと言います。しかし、防犯カメラの設置台数を減らす理由は明確ではありません。映像データの管理方法が問題になることを指摘できていますが、プライバシーの権利をどのように守るのかは書けていません。プライバシーを写し撮った映像データの閲覧や利用はどのような資格を持つ人がするのでしょうか。その点の説明が欲しかったですね。)

(3) 防犯カメラの設置に反対する立場の作文

- ① 1組 M. T. 私は、防犯カメラの設置に反対です。

もし設置すれば、子どもの登下校の事件は防止できます。と、いうことは、常に、その道は監視されているということです。子どもの親にとっては子どもに何かあったら心配です。その心配を解決できるメリットは おおいにあります。しかし、どこに付けるかで問題はかわってくると思います。防犯カメラの前に住んでいるおじいさん、おばあさんは常に家を出るときも帰ってくるときも監視されています。カメラは360°だとすれば、家の中まで見られてしまうという、デメリットも在存します。他にも、その映像が盗まれたり、不せいに関係なく見られていればプライバシーの権利が保障されなくなります。もし、設置するのであれば市はきちんと情報を守れるのでしょうか。守れなかったら、また新しい犯罪が生まれ、カメラの情報が犯罪に使われるからです。防犯カメラを設定するのであれば、登下校に、みまわりをの人を出したりすればいいと思う。

※(結論を明確に書いています。その根拠にも矛盾はありません。防犯カメラの効果を否定するのではなく、肯定した上で、この反対意見を書くのは非常に難しい場面に立ちます。それは、プライバシーの権利の保障が確約できないことを説明できないと説得力がなくなるからです。その点で、この作文は徹底的に防犯カメラの問題点を指摘しています。今日の情報の技術面の限界で、完璧なデータの防衛は不可能です。そのことをふまえて「市はきちんと情報を守れるのでしょうか」と指摘しているとすれば鋭いと言えるでしょう。このことは、情報化社会の最大の弱点でもあるのです。ただ、残念なのは、この作文にプライバシーの権利についての説明がないことです。プライバシー権利についての明確な定義あるいは説明があると、とてもよい作文になったと思います。)